

科目番号	IB209			
科目名	海外研修(国内研修)			
担当教員	兼光英喜(森林大学校専任教員)ほか			
科目区分	実習・学外訓練	人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年		授業形態	実習
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
単位数	2			
授業時間数	30 コマ (60 単位時間)			
実務経験のある教員による授業科目	—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—	左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容	国内におけるスマート林業、コンテナ苗、早生樹、一貫作業システム、CLT、バイオマス発電などの現地調査			

目的	国内におけるスマート林業、コンテナ苗、早生樹、一貫施業システム、CLT、バイオマス発電、ジビエ、Iターン・Uターン、ローカルベンチャーなどの先進地・先進企業を現地調査し、地域における林業・木材産業の推進方策について、幅広い視野を持って見通す力を養うとともに、発展に貢献するための見識を深める。
概要	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったオーストリア海外研修に替えて、国内における先進地・先進企業などへの調査、調査先企業・職員とのディスカッションの結果をグループワークによりとりまとめ、学内で発表する。
キーワード	①自然、②スマート林業、③野生鳥獣・ジビエ、④木材流通、⑤バイオマス発電
関連する科目	
到達目標	<input type="checkbox"/> 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得 <input type="checkbox"/> 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得 <input type="checkbox"/> 多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	出席30%、発表30%、調査態度40%

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	事前学習	(1)国内研修地の紹介・研修目的の確認 (2)グループワークによる事前学習
3～22	国内研修	(1)自然遺産等 (2)スマート林業・森林管理 (3)苗木生産・早生樹 (4)野生鳥獣・ジビエ (5)CLT・木材流通・バイオマス発電 (6)ローカルベンチャー・Iターン 等
23～30	報告	研修成果のまとめ、研修報告会

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	宿泊等を行う日程もあることから、宿泊費の準備、アルバイト等の日程調整に気をつけること。